

## 第5学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 けんきよな心で
- 2 教材名 約束
- 3 主題構成表

<p>◆内容項目 B(11) 相互理解、寛容</p> <p>相手の立場に立って考えることによって、互いの理解が深まることが分かり、だれに対しても謙虚な心で接していこうとする。</p>	<p>◆価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間は、ある事実について間違った解釈をしたり、他者の言動の真意を取り違えたりすることがある。このような誤解によって、人と対立する。お互いに理解し合うには、第一に、自分の気持ちや考えを相手にわかるように伝えることが大切である。第二に、相手の置かれている状況を考えることが大切である。しかし、相手の気持ちや考えは自分と同じであるとは限らない。ここで「自分と異なる意見も大切にすること」が重要になる。</li> <li>・高学年では、相手との違いを意識するようになる。そんな時期だからこそ、相手の意見を素直に聞き、相手の立場に立って考える態度を育てたい。自分と異なる立場を尊重することで、相手の過ちなどに対しても、自分にも同様のことがあるかもしれないと謙虚な心、広い心で受け止め、適切に対処できるようにする。</li> </ul>	<p>◆教材の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本教材では、情報機器の扱いがもとで起きたトラブルについて考え、相手の立場に立って考えることや、広い心で相手を思いやることの大切さを学ばせたい。</li> <li>・陽菜が、結衣の立場を考えず、軽率な言動をしたことで、人間関係が崩れかけたことに気付かせる。ただし、軽率な言動の背景にある陽菜の苛立ちも多角的にとらえさせ、共感できるようにする。</li> <li>・結衣が「もういいよ」と言ったのは、陽菜の立場に立って考え、広い心で思いを受け止めようとしたからである。それによって互いの理解が深まったことに気付かせる。</li> </ul>
<p>◆内容項目から見た児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の立場を考え、思いやれる児童がいる。一方で、相手の立場を考えず、軽率な言動をして人を傷つけてしまう児童もいる。</li> <li>・自分の考えや意見を正確に相手に伝えることができない児童がいる。</li> <li>・相手の立場に立って考えることが苦手な児童がいる。</li> </ul> <p>◆要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の立場を尊重する態度が成熟していない。</li> <li>・強い立場の相手に遠慮して、自分の考えを伝えきれない。</li> <li>・相手の置かれている状況を自分のこととして考える力が身につけていない。</li> </ul>		

◆本時のねらい

相手の立場や状況を想像することで互いの理解が深まることに気づき、だれに対しても謙虚に接していこうとする心を育てる。

<p>◆ 展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友人とのトラブルを想起して、価値の方向づけを行う。</li> <li>・相手の立場を思いやって受け止める、広い心の大切さに気付かせるため、結衣が「もういいよ」と言った理由を考える。</li> <li>・よりよい友人関係をつくるために「相手の立場に立って考える」ことの必要性を考える。</li> <li>・周りの人たちとよりよい人間関係づくりをしていこうとする意欲をもたせるため、教師の説話を話す。</li> </ul> <p>◆ 人権教育との関わりから</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の立場に立ってものごとを考え、だれに対しても謙虚な心で接していこうとすることで、「自己啓発力」を高める。</li> </ul>	<p>◆基本の発問(◎中心発問)</p> <p>○通信機器の使い方が原因で、友達との間に問題が起こったことはありませんか。</p> <p>○陽菜さんはなぜグループトークに書き込みをしてしまったのでしょうか。</p> <p>○結衣さんの事情を知った時、陽菜さんはどんなことを考えたのでしょうか。</p> <p>◎結衣さんが「もういいよ」と言ったのは、どうしてでしょうか。</p> <p>○よりよい友人関係をつくるために必要なことを考えましょう。</p>
---	---

4、学習の指導過程

	ねらい	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助および留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>価値の方向づけを行う。</li> </ul>	<p>1 友人とのトラブルを想起する。</p> <p>○誤解が原因で、友達との間に問題が起ったことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>何気ない言動で相手を傷つけてしまったことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達とのトラブルについて、考える視点をもたせる。</li> </ul>
展開前段	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の概要をつかみ、本時で考えたことを明確にする。</li> </ul>	<p>2 教材「約束」を読み、謙虚な心の大切さについて考える。</p> <p>○陽菜さんはなぜグループトークに書き込みをしてしまったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家族の誘いを断ってまで約束したのに、約束を破られて頭にきたから。</li> <li>結衣に事情があったと思えなかったから、書き込みをしたのだと思う。</li> </ul> <p>○結衣さんの事情を知った時、陽菜さんはどんなことを考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>結衣さんの立場を考えず、ひどいことをしてしまった。</li> <li>結衣さんに謝らないといけない。</li> </ul> <p>◎結衣さんが「もういいよ」と言ったのは、どうしてでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>もしも反対の立場だったら、同じようなことをしたかもしれないから。</li> <li>陽菜さんは事情を知れば、誤解は解けると思ったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衝動的に書き込んだことで、人間関係が崩れるトラブルにつながることに気付かせる。</li> <li>陽菜が約束を破られて腹が立つ気持ちにも共感できるようにする。</li> <li>相手の立場に立って考えることの大切さに気付かせる。</li> <li>陽菜と結衣の心情を比べながら考え、結衣の相手の思いを受け止めた広い心に気付かせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>人権教育の観点</b>  <b>&lt;育てたい力&gt;自己啓発力</b>                      相手の立場に立ってものごとを考え、だれに対しても謙虚な心で接していこうとする。</p> </div>
展開後段	<ul style="list-style-type: none"> <li>「相手の立場に立って考える」ことを広げて自分たちの生活に立ち返らせる。</li> </ul>	<p>3 自分の生活に立ち返る。</p> <p>○よりよい友人関係をつくるために必要なことを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の立場を考えず、軽率な言動をしたことで、ケンカになったことがある。</li> <li>相手の立場に立って考え、広い心で相手を思いやったり、自分の意見も伝えたりすることが大切だと思う。</li> <li>誰に対しても謙虚な心で接すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの経験で、相手の立場に立って考えて上手くいったことや、あまり考えずに失敗したことを振り返りながら、考えさせる。</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>周りの人たちとよりよい人間関係づくりをしていこうとする意欲をもたせる。</li> </ul>	<p>4 教師の説話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自身も、過去に謙虚さに欠ける言動で仲間とすれ違い、相手の立場に立って考えることの大切さを実感したことを紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気付いた内容を明確にし、周りの人たちとよりよい人間関係づくりをしていこうとする意欲をもてるようにする。</li> </ul>